

【議題】

あいさつ

- 1 委員の交代
- 2 平成26年度の進め方について
- 3 地域力応援基金助成事業について
  - ・地域力応援基金スタートアップ助成事業[新規]の審査委員選出
  - ・基金事業の見直し及び今後の進め方
- 4 調査研究テーマ「自治会・町会の現状と連携・協働ニーズ」について
- 5 その他

【出席者】

勝又委員 加藤委員 内藤委員 中島委員 石垣委員 石川委員  
山本委員 牛山委員

地域力推進部長 区民協働担当課長 地域力連携協働支援員 区民協働担当  
2名

【会議録】

事務局 定刻になりましたので、平成26年度第1回大田区区民協働推進会議を始めさせていただきます。  
本日から区民協働推進会議委員の方々には2年目となります。どうぞよろしくお願いいたします。  
なお、本日、委員11名のうち8名の方にご出席いただいています。  
大田区区民協働推進会議設置要綱第6条に基づき、会議は有効に成立したことをご報告申し上げます。  
議事録作成のため、本日の会議を録音させていただきますのでご承知ください。  
また、本日、会長が遅れての出席となりますので、到着までの間、事務局で進行を務めさせていただきます。  
始めに、地域力推進部長からごあいさつを申し上げます。

部長 大田区ではこの4月に組織改正があり、これまで地域振興部に組織されていた国際都市担当部門は、より国際化に力を入れていくため、観光部門も合わせ、観光・国際都市部として単独の部となりました。区民協働担当は地域力推進部の中で、これまで以上に地域における連携・協働を高めていくこととなります。団体間の連携・協働を積極的に求めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局

それでは会議をはじめさせていただきます。  
最初に、「委員の交代」につきまして、事務局よりご報告させていただきます。大田区商店街連合会の役員の交代に伴い、遠藤委員は退任されます。後任の委員につきましては、次回ご紹介させていただきます。  
続きまして、平成26年度の進め方について説明をさせていただきます。推進会議の回数は昨年同様7回を予定、開催の時期としては、昨年は3回目を9月に実施しましたが、今年度は7月に開催予定となります。これは、現在進めている調査・研究テーマの進捗に伴い、具体的にモデル事業に着手する自治会・町会から申請を提出いただき、この場で審議を予定しているからです。ジャンプアップ特別枠の事業として進めていくこととなります。  
本日第1回は、このあと地域力応援基金助成事業の審査委員の選出と調査研究テーマの検討となります。  
第2回は6月で、スタートアップ助成事業の審査となります。  
第3回は7月の中旬となり、先程の説明のとおりです。  
第4回は10月下旬から11月で、ステップアップ助成事業の審査となります。  
第5回は11月下旬から12月で、調査研究テーマとなります。  
第6回と第7回は、2月と3月となり、委員の皆様から2年間の調査研究結果のまとめを検討・確認いただき、最終的に区長への提言書となります。それ以外に助成金の継続審査などもあります。  
このような進め方を予定しておりますので、よろしくお願ひします。  
推進会議の進め方について、質問・意見等がありましたらご発言をお願いします。

委員

最後のまとめの時は、1週間以上前に資料をいただけるように願ひます。

事務局

了解しました。

委員

テーマのモデル事業の実施期間はどのくらいありますか。

事務局

第3回の会議で審議いただき、その後着手して来年の3月31日までの予定です。実施期間中となるので、まとめに100%すべてを載せるのは難しいかもしれませんが、モデル事業の経緯やまとめる予定の枠組みなどが提言に盛り込めると良いのではないかと考えています。モデル事業の検証までは今期では着手できないかもしれません。

委員

モデル事業の評価はどこで認められて発表されますか。

事務局

モデル事業はこれから皆様にお諮りし、助成金事業の中で進めて行きますので、継続の可能性もあることから、来期の推進会議の中で総括していくことになる可能性もあります。その他、ご意見はありますか。それでは、今年度もその他皆様に諮りながら進めていきますので、よろしくお願ひします。

事務局 次に議題3 地域力応援基金助成事業一つめの平成26年度地域力応援基金スタートアップ助成事業[新規]の審査委員選出を行います。

〈 審査委員選任 〉

事務局 では、選出委員の皆様よろしくお願ひします。  
それでは、二つ目の基金事業の見直し及び今後の進め方についてですが、まず今年度の審査について改善を考えている内容についてご説明します。

－審査項目内容については非公開－

会長 それでは、調査研究テーマ「自治会・町会の現状と連携・協働ニーズ」について説明をお願いします。

支援員 集計結果については、前回までに皆様にお話をしていますが、本日は、基本情報についてお示しします。副会長、各部長の人数、年齢を答えていただいています。人数は3人、5人、4人の順に多いとのことでした。男女別では、男性は3人、2人、4人の順ですが、女性は1人というのが多く、次は1人もいないとのことでした。自治会・町会では、副会長のポストは圧倒的に男性が多いようです。年齢は、最多年齢層は70歳台、60歳台の順で多く、最年少は50歳台が多く、最年長は80歳台が多くなっています。部の数では、9部、10部、8部の順に多いようです。マンション自治会の中で、部を設けず、柔軟に対応している所もありました。今回、集計結果という形でまとめていますが、報告書という形でないのは、この推進会議が2年に一度報告書の形式でまとめることになっていますので、それまでは集計結果の形式となります。回答をいただいた自治会・町会には、集計結果を返していかないとはいけませんので、直近の大田区自治会連合会の会議の場で説明した後、各自治会・町会に返していきたいと考えています。  
もう一つの五つの自治会にヒアリングを実施した内容について説明します。

〈 各自治会町会ヒアリングの内容を報告 〉

支援員 ヒアリング対象数は少なかったのですが、どの自治会・町会もこれまでと意識が変わってきていると感じられました。また、自治会・町会の中にいろいろな人材が繋がっていることもわかりました。特に人材確保の面では、いきなり役員になってもらうのではなく、イベントなど気の楽な活動に参加してもらい、活動を知らせながら人材確保していく、社会教育を入口に地縁活動に入って来る人が意外に多い、いろいろな人材を活かすために繋ぎ役が必要であるなど、様々なお話を聞くことができました。

委員 六郷地区の例では、様々な団体が結集している地区地域力委員会の中で分會を組織し、各々がテーマを話し合い、課題解決を図っていこうとしています。

- 会長 アンケート結果は、現実の自治会・町会の実態をそのまま表している状況です。地域のことは地域の中である程度解決していかなければならないと思います。特に防災や福祉などは他の組織を手伝う余裕などありません。また、六郷地区の事例では、今は一つの自治会・町会だけで解決できないことが増えています、特に高齢者の問題はメインテーマとなりますので、自分達のやっていることをお話し、単会ではなく15町会全部に声をかけ、協働して取り組んでいきたいと考えています。  
今回テーマとして取り上げていただき、モデルになるような事業がお示しいただければ、どこの町会でも欲しいものとなります。今着手しておかないと手遅れになってしまうと強く感じますので、どうぞよろしく願いします。
- 委員 地域包括ケアなど福祉との関係はどのようになっていますか。
- 課長 福祉の切り口として、大田区には20か所の地域包括施設があり、高齢者の相談場所となっていますが、場所がわかりにくいところもありました。六郷地区も以前は特別出張所は単独施設でしたが、今年の2月から六郷地域力推進センターが開設され、地域包括施設としてはさわやかサポート六郷中、子育て支援施設としてはキッズな六郷が併設されています。今回、併設されている施設と一緒に何か取り組みを考えていきたいということで検討されています。
- 会長 複合施設としては第1号なので、皆さんから注目されていることを感じ、気が重くなっている面もあります。それでもせっかくなので、何か良い取り組みを考えていきたいと思います。
- 委員 この集計結果は最終版となりますか。会長の男女比と年齢について記入されていた方が良いと思います。
- 支援員 今回の設問にはなかったのですが年齢は入れられませんが、名前がわかりますので男女比はわかります。
- 会長 男性が圧倒的に多いと思います。
- 委員 基本情報の中に加入率や会館の有無が入っているので、そういう情報も入っている方が良いのではないですか。
- 委員 自治会・町会の情報を全部入れるとなると膨大な量になってしまいます。今回人材確保が一番大きなテーマとしていますので、副会長が記載されているので、会長の状況がどうなのかは皆が知りたいと思う部分ではないかと思います。これはアンケート調査を行った集計結果ですが、欄外にわかる範囲で記載できませんか。
- 課長 今回の内容は最終版ではありませんので、まとめの時に今いただいた意見

も考慮していきたいと思います。

部長 地域力推進センターのお話が出ましたが、行政拠点、高齢者拠点、子育て拠点の複合施設として開設し、今後のモデルになっていくと考えます。これまでも協働は行われておりますが、この複合施設において、更なる取り組みを展開いただきたいと思います。行政も縦割りの状況で、方法を模索している段階であります。このセンターでの取り組みをモデルに横に広げ、協働事業を活発にしていければと考えています。

会長 それでは、次回の推進会議の日程を決めたいと思いますので、事務局からお願いします。

〈 第2回 区民協働推進会議 6月3日（火） 開催 〉

課長 その他、「大田区被災地支援のあゆみ」の冊子を配布させていただきました。  
これは3年前から大田区が進めている被災地支援の協働について、区民ボランティアの支援を行った内容となります。この事業は、寄付金を原資としております。毎年寄付者には感謝状の贈呈を行っています。その席で取り組み内容を説明するために作成したものです。本日は区民協働事業の一つとして皆様にご報告いたします。内容は、東松島の被害状況、復興状況、ボランティアの活動内容、寄付金の内容が掲載されています。ご一読いただければと思います。

会長 復興の状況はどの程度ですか。

課長 今年度から災害復興住宅への移転が始まり、全体の25%が仮設住宅から復興住宅へ入居できる状況となります。大田区が支援に入っている東松島市の東名（とうな）・野蒜（のびる）地区は、高台に移転しなくては行けないので、3年後の平成29年度になるとのことです。まだまだ復興の延長線上にあると思います。

会長 その他、全体的なご意見で何かありますか。

委員 ぜひ六郷地域力推進センターを見学したいのですが、何か実施している時などに行くことはできますか。今年の事業実施場所になるようなので、見ておきたいと思います。

課長 事務局と日程調整を行い、見学いただけるようにしたいと思います。

委員 五つの団体のお話がありましたが、テーマは絞り込むのですか、それとも五つとも進めていくのですか。

課長 アンケート調査の結果、取り組みたいということで上がってきたものが、

本日お話をさせていただいた内容となりますので、この五つについてモデル事業的なものとして取り組みたいと考えています。この後も手が上がって来ましたらヒアリングを行い、なるべく多くの事例に接していければと思います。

会長 六郷地区でやろうとしていることは、私の町会は配食サービス、別の町会はサロンの開催というように事例や特徴がある高齢者に関わる事業を現在実施している町会に手を挙げていただきます。一緒に取り組んだ結果により、六郷地区全体に広げていくための啓発活動まで着手できればと考えております。モデルができるよう努力したいと思います。  
それでは、時間がまいりましたので、この辺で審議を終了させていただきます。  
皆様、本日はありがとうございました。事務局よろしく申し上げます。

事務局 これで、本日の会議は終了です。お疲れ様でした。

< 終 了 >